

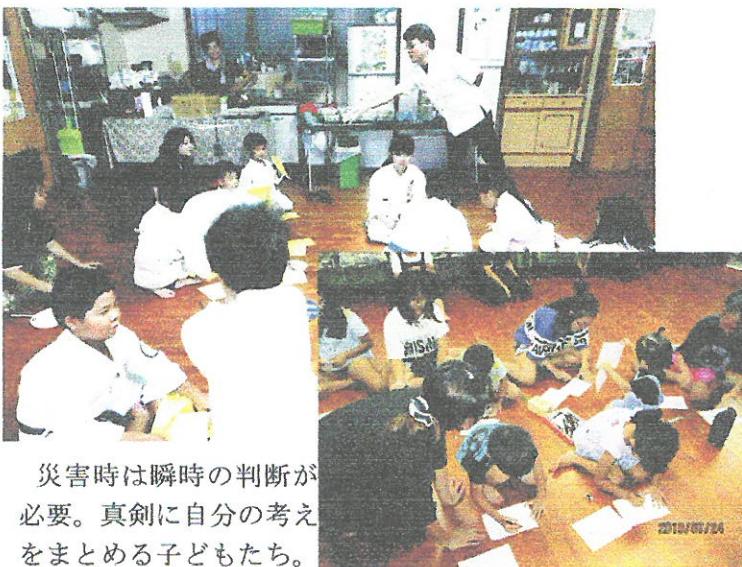
# 港川自治会だより

19年8月  
第319号

元気にラジオ体操  
中学生・区民も多数参加



公民館前広場だけではなく、お隣の教会まで広がつての毎朝の後継。夏休みも中盤に！頑張れ！！



災害時は瞬時の判断が必要。真剣に自分の考えをまとめる子どもたち。

支援対策を考えるか重要な課題です。最近は乳幼児連れや低学年生の公民館利用者も多い。子どもたちは夕方や夜間での活動を想定に実施。父母亲に応じた役割を考えて貰いました。いずれの講座でも大地震、大津波への基礎的な理解、ゲーム形式ながら、極限状況で求められるそれぞれの判断力の大切さなどを学びました。写真。

9月8日（日）午前11時  
市役所より名簿が届き次第、次回号でお知らせ致します。各サークル、子ども教室の皆さん、余興出演よろしくお願い致します。

敬老会今年も小学校で

イス、児童への記念品などを計画しているそうです。販売する物品はタオル、サンエー商品券、スターTシャツ（1800円）。一般区民の購入希望者は自治会で受け付け中。

## 「生き抜く力・判断力」学ぶ

### 課題多い防災対策

大災害はいつ起きるか分かりません。「今いる場所・日常生活の状態」で災害が発生したときに、何を考え、判断行動するか、これまで4回の講座を続けています。今回は公民館を中心、特に対象を子どもたちや高齢者など「災害弱者」と言われる人

たちへの対策を考えることを主眼にしています。

水曜ふれ合いサロン（午前11時～五歩1時過ぎ）は約20名の高齢者が集まりますが、この時間帯は、地域に若者が極端に少ないケースを想定。地震発生に備えた自宅内での家具転倒防止対策、津波などに備えた避難行動でも、とくに高台への緊急避難では移動困難者も多く、どう

17日（土）に延期へ  
サンゴ植え 悪天候で  
3日予定した「Oneサンゴ」P  
Jの苗植え付けは、17日（土）午後～  
2時から再挑戦します。

## 資金造成に協力要請

港小40周年記念事業で  
運動場の器具や体育館の折り畳み



ㄉ＼いだき　ときどき閑話  
県内の「ラムサール条約登録」を機に始まった沖縄こども環境会議が、このほど漫湖水鳥・湿地センターや糸満青少年の家（宿泊研修）で行われ、自治会の備瀬栄名さん（港中2年生）と吉川明毅君（港小5年8班）が参加、カーミージーでの観察会やサンゴ活動など報告した（写真左が栄名さん、右明毅君）

過去4年生の総合学習の延長的に参加の実績はあつたが、しばらく途絶えてきた経緯がある。今回は学校PTAの推薦の形で、継続的に活動

している自治会の子ども達が代表として参加。表として発表され、受け答えには会場からも大きな拍手が送られた。立派です！頑張って